



[2012年 Vol.36]

湊若越

みなとじゃくえつ

「港の元気は福井の元気」「地元の貨物は地元の港から」

つるが「鉄道と港」フェスティバルイヤー

オープニングセレモニーが開催！

平成24年4月15日、旧敦賀駅舎（金ヶ崎緑地内）において、つるが「鉄道と港」フェスティバルイヤー・オープニングセレモニーが開催されました。

今年には①敦賀ー長浜間鉄道開通130周年、②敦賀ーウラジオオストク定期航路110周年、③欧亜国際連絡列車運行100周年といった敦賀の鉄道と港の歴史にとつて節目の年となることから、これを記念しメモリアルイヤーの幕開けを祝って当セレモニーが開催されたものです。

冒頭に、「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会の田中完一会長から「敦賀の魅力を発信し全国から大勢の人に来てもらい、ふれあいの機会としたい。出発進行！」とあいさつ、続いて河瀬一治市長から「事業の成功に向け、皆で頑張りましょう」とあいさつがありました。

現在、33団体の45事業が平成25年3月にかけて、様々な催しが繰り広げられています。



まちづくり実行委員会
田中完一 会長のあいさつ



河瀬一治 敦賀市長のあいさつ



オープニングセレモニーの様子

つるが「鉄道と港」フェスティバル関連イベント

親子のフェスティバルにて、港内見学会を開催！

平成24年5月20日、敦賀市内のきらめきみなと館及び金ヶ崎緑地において、親子、仲間、地域、自然とのふれあい等を通じて青少年の健全育成を図ることを目的に、青少年健全育成敦賀市民会議の主催で第30回「親子のフェスティバル」が開催されました。

当事務所では、港湾業務艇「まつかぜ」による敦賀港内を一周する体験航海を、午前10時から午後3時まで計6回運航し、合計102人の市民が乗船されました。

当日は、天気も良く波も穏やかで、船内では、敦賀港の港湾施設の役割や必要性などの説明を行い、参加された方々は、普段見ることができない海からの敦賀港について大変興味を持たれるなど、下船する市民からは「楽しかった」、「ありがとう」という声が多く聞かれました。



乗船する市民



海上からの敦賀港を見学



きらめきみなと館での賑わい

- ・つるが「鉄道と港」フェスティバルイヤー **P1**
- ・「人道の港」クルーズが出港しました！
・次世代フェリー「すずらん」の内覧会が開催されました！ **P2**
- ・災害時の応急対策業務に関する協定書の締結式を行いました！
- ・「海をきれいにする奉仕活動」で「福井の海を守る会」が国土交通大臣賞を受賞！
・「平成23年度完成優良工事・優良建設技術者表彰」で半澤組と監理技術者の谷根規之氏が受賞！ **P3**
- ・敦賀港（鞠山北地区）防波堤の被災ケーソン復旧
- ・コンテナ取扱貨物量過去最高！
- ・福井港海岸工事のお知らせ **P4**
- ・新所長就任のあいさつ

人道の港クルーズが出港しました！

平成24年7月25日(水)、敦賀港の金ヶ崎岸壁において、敦賀「ロシア・ウラジオストク定期航路開設110周年を記念した「人道の港クルーズ」が出港しました。

客船前で行われた出港式では、冒頭に河瀬一治市長が「港の元気は、敦賀の元気。人道の港を全国に発信していきたい」とあいさつがあり、続いて敦賀市議会の堂前一幸議長、日本クルーズ客船(株)の入谷泰生代表取締役社長、更に、故杉原千畝氏の義理の娘にあたる杉原美智さんからあいさつがありました。

その後、子供たちが踊りを披露した後、紙テープが投げられ大勢の市民が見送る中、ウラジオストクに向けて出港していきました。出港した豪華客船「ばしふいっくびいなす」には、河瀬一治市長ら432人が乗船し、29日の帰港まで4泊5日のクルーズを行いました。

「杉原千畝氏とは」

第二次世界大戦中の元リトアニア領事代理であり、ナチスの迫害を免れるため、人道的見地より大量のビザ(命のビザ)を発給し、ユダヤ人難民約6千人を救ったといわれています。

「人道の港とは」

敦賀港は、杉原千畝氏の「命のビザ」を持ったユダヤ人難民がシベリア鉄道を経由し、上陸した日本で唯一の港です。

市民は彼らにりんごなどの果物を無償で提供したり、銭湯を無料で開放するなど、当時の心温まるエピソードが残されており、近年、人道の港 敦賀として注目を集めています。



杉原美智氏からのあいさつ



市民のお見送り

次世代フェリー「すずらん」の内覧会が開催されました！

平成24年6月19日、敦賀港フェリー岸壁において、新日本海フェリーの敦賀・苫小牧間航路に新造船「すずらん」が新規就航することを記念し、初航海前のレセプション及び船内見学会が開催されました。

新造船は、プロペラと電動モーターを組み合わせたハイブリッド型ポッド推進システムを採用し、CO2排出量を約25%、NOx(窒素酸化物)を約40%削減可能な地球環境にやさしい次世代型フェリーとなっています。

また、旅客定員は106人増の613人、トラック車両搭載量も36台増の158台と輸送能力がアップし、物流や人の流れが一層促進されることが期待されます。

「すずらん」は、6月20日に苫小牧にむけ営業航海を開始しました。また、もう1隻の新造船「すいせん」も7月1日より就航しました。



新造船「すずらん」の外観



新造船「すずらん」の内装



スイートルーム



和室

災害時の応急対策業務に関する協定書の締結式を行いました！

平成24年9月26日、福井県港湾建設協会と敦賀港湾事務所は、当事務所にて「災害時の応急対策業務に関する協定書」の締結式を行いました。本協定の締結は、地震や風水害等により当事務所の所管施設が被災した際に、当事務所の要請により同協会が必要船舶・建設機材、人員等を復旧に充てることで、応急対策や被災施設の早期復旧に資することを目的としております。

協定式では、廣木沿岸防災対策官より協定の趣旨説明を行った後、福井県港湾建設協会 関剛摩会長と当事務所 松本祐二所長が協定書に調印しました。調印後、松本所長は「災害時にはスムーズな復旧にかかれるよう日頃から連携を深めたい。今回の協定は、人々の安全安心な生活に繋がる」と述べ、続いて関会長から「有事に備えた取り組みをしていきたい」とあいさつがありました。

協定の締結は、東日本震災を踏まえ、初期段階の緊急物資輸送に港湾施設の早期復旧が重要な課題となったことから事前の体制強化の一環として行われており、管内では金沢港湾・空港整備事務所、新潟港湾・空港整備事務所について3番目となります。



協定を締結し握手を交わす松本所長(左)と関会長(右)

「海をきれいにする奉仕活動」で『福井の海を守る会』が国土交通大臣賞を受賞！



中央：福井の海を守る会
下川 八太郎 会長

※この表彰は、国民の皆様により一層海への親しみを深めていただくとともに、海の利用・開発、海洋環境保全への理解と協力を得て海洋・海事思想のより一層の普及を図ることを目的として毎年、国土交通大臣が行っているものです。

国土交通省では、毎年、港内や海浜等の美化活動への尽力に対して、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」を行っています。
『福井の海を守る会』は、福井県福井市の海岸や鷹巣港において多年にわたり清掃活動等を行い海岸や港湾の環境美化に貢献していることが評価され、今回、国土交通大臣表彰を受賞されました。
平成24年7月25日に同表彰式が東京都にて行われましたが、同会が都合により欠席したため、当事務所において『福井の海を守る会』の下川八太郎会長に表彰状の伝達を行いました。

「平成23年度完成優良工事・優良建設技術者表彰」で半澤組と監理技術者の谷根規之氏が受賞！



左側：半澤組 代表取締役 半澤 政文 氏
中央：敦賀港湾事務所長 松本 祐二 氏
右側：半澤組 監理技術者 谷根 規之 氏

※この表彰は、北陸地方整備局所管の工事等に対し、その施工及び成果が特に優秀であつて、他の模範となるものを表彰することにより技術の向上と建設事業の推進に役立てることを目的に制定されております。

平成24年7月23日、平成23年度完成優良工事・優良建設技術者表彰式を敦賀港湾事務所にて行いました。いずれも「福井港海岸（福井地区）離岸堤消波工事（その1）」が表彰の対象となり、建設事業者「半澤組」と、監理技術者の谷根規之氏が受賞されました。
当該工事は、昨年の11月から今年の3月まで施工され、コンクリートの打設や養生及び防風対策等に工夫を凝らし出来映えの優れたブロックを製作したことが評価されました。
表彰式では松本祐二事務所長が賞状を渡して「冬の悪条件下の中、非常にこだわって施工していただいた。今後も他の見本となるように頑張ってもらいたい」と榮譽をたたえました。



(敦賀港)

敦賀港(鞠山北地区)防波堤 被災ケーソン復旧

平成24年4月3日から4日にかけ、急速に発達した低気圧に伴い、福井県沿岸で高波浪が発生したことにより、敦賀港（鞠山北地区）防波堤の先端付近のケーソン1函が港内側に約15m滑動するとともに、捨石マウンドが散乱しました。
被災を受けたケーソンは、縦15m、横9.6m、重さ約3千トンのコンクリート構造物です。
今回、被災した敦賀港（鞠山北地区）防波堤において、7月9日に国土交通大臣より直轄港湾等災害復旧事業の採択を受けました。
当該防波堤は、敦賀港の第一線防波堤であることから、港内の静穏度を早急に回復し、港湾を利用する船舶等の安全・安心を確保するため、平成24年12月末までに、被災箇所の復旧を目指すこととしています。



(防波堤先端港内側)

J-24ケーソン滑動・傾斜

J-26J-25

J-24

Information

H22.7 国際RORO船就航(週2便)により急増



③ コンテナ取扱貨物量(1~9月)(過去3年)

コンテナ貨物量過去最高！

平成24年1月～9月の、コンテナ取扱貨物量(実入り)が、前年同期比20.2%増の2万599TEU(1TEUは20フィートコンテナ1個分)となり同期間としては過去最高を記録しました。このペースで推移すると通年で過去最高を記録した前年実績2万3675TEUを超える見通しとなっています。内訳は、輸出が前年度比13.0%増の8768TEU、輸入が同26.3%増の1万1831TEUでした。これは、輸出では韓国への液晶ガラス、東南アジアや北米への繊維製品、輸入では中国からの住宅資材、韓国からの鋳物製品などが増加したことが主な要因となっています。

福井港海岸工事のお知らせ

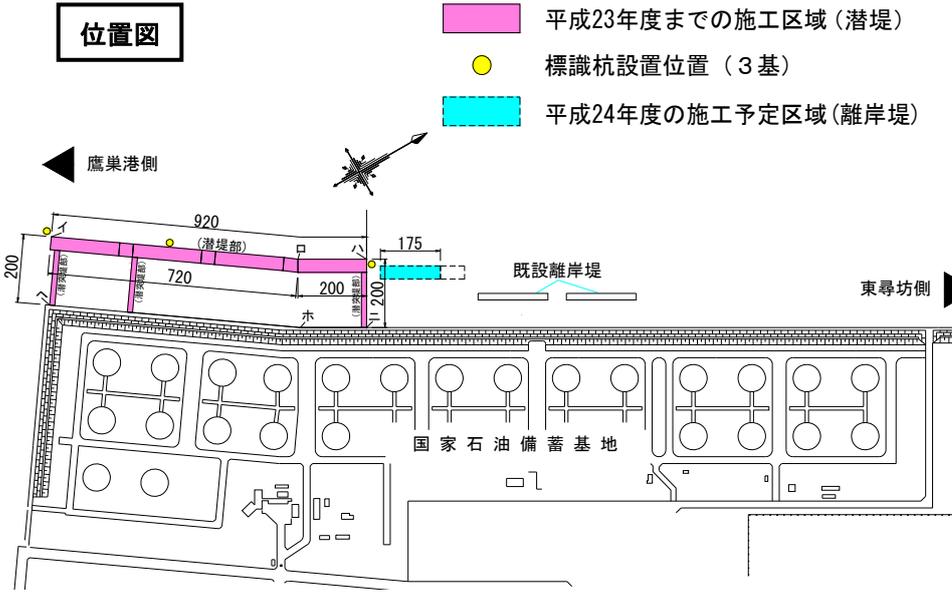
福井港国家石油備蓄基地の約200m沖合に、平成23年度までの工事により、「離岸堤（潜堤）」が延長920m完成しました。付近を航行する船舶などは以下の点にご注意下さい！

- 水深が1.5mと浅く、また数10cmの凸凹もあります。潜堤の上を航行することは危険ですので、近寄らないでください。
- 潜堤の上では、波が砕け危険です。
- 潜堤付近では、流れが速くなることがあり危険です。

詳しくは、当事務所（福井分室：0776-82-1125）の海岸課までお問い合わせ下さい。

凡例

- 平成23年度までの施工区域（潜堤）
- 標識杭設置位置（3基）
- 平成24年度の施工予定区域（離岸堤）



新所長就任のあいさつ

4月1日から敦賀港湾事務所勤務することとなりました松本です。よろしくお願いたします。当事務所での勤務は2年ぶりであり、以前は副所長として福井分室（坂井市三国町）に席をおいておりました。当時敦賀港も担当しており、こちらの敦賀事務所にも幾度となく通っておりました。

不在としていた僅か2年間ですが、敦賀港では静穏度向上のための鞍山北防波堤延伸にかかる防波堤事業が再開されたこと、鞍山南地区国際物流ターミナルが本格供用し、敦賀港における国際物流の拠点が形成されたこと、更には新たな国際RORO船航路が開設され、これに伴い敦賀港におけるコンテナ貨物が大幅な飛躍を遂げるなど大きく変動しております。

また、直轄海岸保全区域でもある福井港海岸においても、侵食対策としての離岸堤整備や吸い出し、液状化対策のための護岸改良など、安全安心を早期実現するための事業が確実に進められております。

今年敦賀は、欧亜国際連絡列車（新橋↓敦賀↓ウラジオストク↑パリ）運行100周年といった鉄道と港の歴史に就いて節目の年となっており、様々なイベントが繰り広げられております。当事務所もこれらの地域イベントに参加し、地域振興にも取り組んで行きたいと思っております。



敦賀港湾事務所長
松本 祐二

新潟市出身。中央大学卒。昭和55年入省。趣味はゴルフ、まちなか散策など。

港は地域の活力につながるものであり、地域の企業や住民の皆様のご意見も伺いながら、港を元気にすることで地域経済がさらに発展するよう、事務所職員一人丸となって努めてまいりますのでよろしくお願いたします。

●発行 国土交通省 北陸地方整備局 敦賀港湾事務所

所長・副所長（事務）・総務課・品質管理課
 工務課・保全課・沿岸防災対策室
 〒914-0065 福井県敦賀市松栄町2丁目4-3
 TEL:0770-22-2590 FAX:0770-21-8101

福井分室 副所長（技術）・海岸課
 〒913-0037 福井県坂井市三国町黒目24字32
 TEL:0776-82-1125 FAX:0776-81-7003

敦賀港湾事務所HP <http://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp>
 北陸地方整備局 港湾空港部HP <http://www.pa.hrr.mlit.go.jp>

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル
 大いに 良くなれ みなと

0120-497-370

※海やみなとに関するご意見、ご感想をお寄せください。

From
Editors